



踏み出そう 夢への一步 彼方まで

# 夜明けの星

団NEWS NO.285

日本ボーイスカウト川崎第46団  
広報委員会発行

## 「2021年に向けて」

団委員長 久保井基隆

コロナ禍の中、スカウト、保護者の方々ならびに指導者はじめ関係者の皆様におかれましては、大変な時期を過ごされている事と思い



ます。と、再び書き始める事になろうとは、想像もしていませんでした。

2021年はボーイスカウト川崎第46団にとって50周年を迎える記念すべき年度ですが、コロナと闘いつつという記憶に残る年度となりそうです。そんな中、新しい年度を迎えるにあたってのスローガンを決定したので報告します。記念すべき50周年のスローガンは「踏み出そう 夢への一步 彼方まで」となりました。カブ隊の松田怜明スカウトが考えてくれました。ネットを利用した投票としたせいか、多くの方に参加頂きました。大激戦でしたが松田スカウトのスローガンが選ばれました。これから新たな1ページを踏み出す46団にふさわしいスローガンだと思っています。

さて、去年は、約100年前に起こったスペイン風邪のお話をしました。スペイン風邪は1918年から1920年に流行したA型インフルエンザでした。文献によると日本での感染者数は2380万人、当時の日本の人口が5473万人という事ですので、およそ半数が感染したという計算になります。ワクチンが無いまま多くの方が感染し、3年程度で集団免疫が付き収束に向かったとの事です。今回のコロナウィルスの場合、国内感染者数は50万人強ですから全人口から見ると非常に僅かな方々が感染した事になります。従ってスペイン風邪の様な収束の仕方は

期待できません。ワクチンによって集団免疫をつけて収束に向かわせるという作戦です。それまでは感染を拡大させない事に大いに配慮しなければいけません。

現在、3回目の緊急事態宣言が発令されました。この1年間、私たちは出口の見えない暗闇の中で試行錯誤を続けてきました。感染拡大しない様に互いが努力し我慢を続けてきました。ただ、今回の感染拡大はそんな我慢の反動の様にも思われます。

仏教の基本思想を表す用語として「縁起」というものがあります。一般には「すべての存在は無数無量と云ってよい程の因縁によって在り得ている」という意味だそうです。ですから日常よく使われている「縁起がよい、縁起が悪い、縁起をかつぐ」という表現は本来の意味からすると誤った使い方になりそうです。でも難しいですね。仏教の造詣の深いイラストレーターのみうらじゅんさんによれば、著書の中でこんな風にかかれています。「自分というものは、単体で存在しない。環境や他者との関係により構成されているのだ。だから悩みが生じたときは、自分だけを信じるのではなく相手の気持ちや環境を考えてみよう」と。この「縁起」の心持ちで、もう少し我慢と辛抱を続けてコロナを乗り切らなくてはと切に思っています。

ボーイスカウト活動も皆様のご理解とご支援のもと、できる対策を打ちながら今できる活動を継続していきます。同時に50周年の各種イベントを予定しておりますが、計画通りに進まないことが想定されます。状況を見極めながら着実に進めていきたいと思っております。皆さんと一緒に早く、安心、安全な状況で50周年をお祝いできる様、一生懸命頑張りますので、引き続きのご協力、ご支援、宜しく願い申し上げます。(了)

## 「RS隊活動報告」

RS隊 伊比一生

私たちRS隊は大学生や社会人と、生活スケジュールがバラバラなためみんなで集まって活動する機会が少ないです。そのため各々のスケジュールに合わせて他隊また他団の活動に奉仕しています。

昨年8月には54団VS隊との合同トレッキングでベンチャースカウトのサポーターとして参加しました。コロナ禍という厳しい状況でしたが大自然に囲まれリフレッシュすることができました。また10月には新たな指導者を養成するためのスカウト講習会にこちらもサポーターとして奉仕しました。講習会の内容の一つであるハイキングでは参加者の中で班を編成し道中にあるチェックポイントにて様々な課題に挑戦してもらうものでした。思わず大人たちも頭を抱えてしまうような内容だったりとても楽しい時間を過ごすことができました。

昨年に続き新型コロナが猛威をふるい活動の場が縮小されてしまっている状況ですが、そんな中でも今自分たちができることを見つけ社会の一員として引き続き貢献できればと思います。



## 「VS隊 2020年下半期活動報告」

VS隊 隊長 渋谷 健太郎

2020年9月に、隊としても久しぶりのキャンプを実施することができました。千葉県・南房総をエリアとして、各スカウトがグループを編成して、希望する活動を実施しながら、房総半島をぐるりとめぐる、移動キャンプを企画・実施しました。今回は、近隣団である川崎第54団VS隊との合同活動として、海辺のフィールドをフルに活用したシーカヤックや海岸線を走るサイクリング、そして自然を満喫する観光名所巡りといった各々の考える活動計画に沿った2泊3日のキャンプとなりました。

ベンチャースカウトの活動ですから、指導者は全ての活動にいちいち同行はしません。常に、先回りして行動の様子を遠くから眺め、無事にその日の活動が完了したら、スマートフォンでの進捗共有や相談をしながら、スカウトの活動が最優先となるように支援を行いました。各団で複数台の隊車を準備し、安全面も十分に配慮する中で行いました。感染症拡大により、活動の実施についての判断が難しい中で、グループを担当するチーフがその他のメンバーと協力しながら、事前の準備だけでなく、当日の配慮についても対応の様子を見て、新しいスカウト活動の一端を垣間見えたように感じます。

新年度に向けて、隊の活動計画を進めておりますが、隊ごとの連携を深め、先輩スカウトが後輩スカウトの指導やアドバイスができるよう、個々のスキルを高め、また仲間のことを思い、楽しく活動していきたいと思っております。

# 「CS隊 2020年度を振り返って」

CS隊 隊長 津嶋 直文

今年令和3年4月11日、無事、入隊上進式が開催できました。



トゲ班



駐車違班



昨年度は、世界規模での新型コロナ禍により、活動がかなり制約されました。4, 5, 6月は活動自粛のため対面での活動ができなくなり、スカウト諸君は自宅での活動となりました。

7月から活動再開したものの、楽しみにしていた夏キャンプが中止となり、生田地区外での活動もほとんどできませんでした。11月になって、昭和記念公園でのサイクリングでは、久しぶりにみんなと一緒に活動でき、お昼も一緒に食べてのびのびしていました。

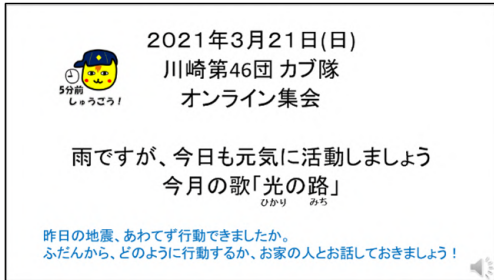


12月は、例年であればBVS隊合同のクリスマス会ですが、施設での人数制限のため午前、午後に分かれての開催となりました。

年が明けて、令和3年、2回目の緊急事態宣言が出され、対面での活動も自粛となりました。

結局、3月21日までWeb集会となりました。我々指導者は、全国のWeb集会を参考

にして、手探りで集会となりました。スカウト諸君の顔を見ながら話ができるのは良かったのですが、後でスカウトに話を聞くとやりにくかったようです。(反省)



2月には、試みとして団企画のWeb団集会を行いました。指導者の皆さんとはWeb団会議でお会いしていましたが、CS隊以外のスカウトの顔が見られて、声を聞いたのは楽しかったです。

振り返ってみると、コロナ禍とはいえ、スカウト諸君には本当に心残りの思いをさせたのではと感じています。先ほどのWeb団集会で、新型コロナウイルス感染症が収束したら何をしたいか、には、キャンプ、料理の意見が多かったのが印象的でした。野外で思いっきり楽しみたいですね。

今年度もしばらくは元通りとはなりません、皆で知恵を出し協力して活動に取り組みたいと思います。

< 終り >

## 「2020年 ビーバー隊 活動報告」

ビーバー隊 隊長 宮崎栄二

2020年は、オリンピックイヤーとして盛り上がるものと思いきや、コロナ禍により、ビーバー隊は7月より戸外活動を再開。三田第四公園、生田緑地やその周辺を活動の場の中心として、ハイキング、梨狩り、防災食試食、ハロウィンゲーム、忍者修行体験ゲームなど実施。1月からは戸外活動が再び自粛され、WEB集会においてクイズや絵をかくゲームなどを行うも消化不良気味。やはりビーバー世代は戸外でのびのび動き回るのが一番と実感しました。

今後もコロナ次第ではありますが楽しい遊びの中から少しの達成感を味わいつつルール順守や、気づきを発見できるプログラムを心掛けていきたいと思います。

ビーバー隊に、生田小2年生の斉藤凛人(さいとうりんと)くん、南菅小1年生の伊東天惺(いとうてんせい)くんが入隊しました。これからも、隊活動を盛り上げて一緒にお友達をふやしていきましょう。



## ニュース

### 創立50周年シンボルマークデザイン決定

46団創立50周年シンボルマークのデザインが決定しました。



＜デザイナー ローバー隊伊比安里スカウトコメント＞

この度、50周年シンボルマークのデザインに携わらせて頂きましたRSの伊比安里です。

このデザインは、BVS・CSスカウト達が考えてくれたものの中から、団集會に参加したスカウト・リーダーで選び、粒を取り合せて形にした、いわば46団の想いの結晶だと思います。私は最後に結晶を固めるお手伝いしかしていないので、ここに文章を書くことも恐縮です。しかし、1スカウトの「絵を描く」という趣味をリーダー方が忘れずに、その上で依頼して下さったという事実に、私が46団で過ごした10年以上もの月日の長さと喜びを感じます。

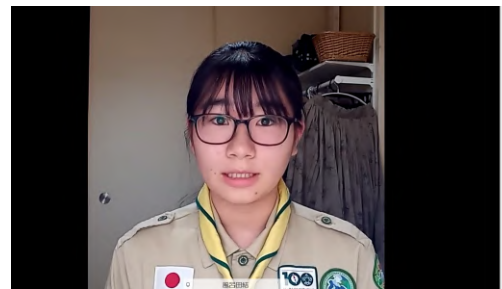
このデザインのように、いつまでも手を取り合い、上に上にと向かっていく気力に満ちた46団でいれたら、こんなに嬉しいことはありません。

最後になりますが、50周年本当におめでとうございます！



## 菊スカウト受章

風呂田結スカウトに菊スカウト章が授与されました。



＜風呂田スカウトコメント＞

ボーイ隊に入隊した当初は、『菊章』というものは手の届かない存在だと感じていました。ですが、実際に見習いとして活動を始めてから、3年半という期間を経て菊章にたどり着くことが出来ました。これは私自身の力だけではなく、リーダーの方々、同期の仲間たち、そして先輩方の力があつたからこそだと感じています。本当にありがとうございました。

菊章という立派な章にふさわしいスカウトになれるように、また多くのスカウトの模範になれるよう日々精進していきます！これからもよろしくお願ひ致します！！

## 入隊・上進式(4月11日)

4月11日(日)に三田第4公園にて入隊・上進式が執り行われました。団委員長から2021年度のスローガン「踏み出そう 夢への一歩 彼方まで」と創立50周年シンボルマークが発表されました。ビーバー隊に入隊するスカウトがやくそくを宣言しました。上進するスカウトは決意を発表しました。



### 編集後記

今号もwithコロナでの活動を語っていただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。創立50周年もりあげていきましょう。〈広報委員〉  
江川豊、荒川泰一

46団ホームページ

<http://www.bsk46.com/>

46団Facebook

<https://www.facebook.com/bsk46>

